

トークセッション

「パラスポーツ×ビジュアルコミュニケーション」

2020年に向けて、各地でパラスポーツの体験会等が開催され、注目も集まるようになっていますが、まだ十分な状況とは言えません。より多くの方の関心を集めるために、ビジュアルを切り口としてパラスポーツの魅力を見つめるとともに、魅力が伝わるためのポイントなどを学んでいきます。本トークセッションでは、参加者の知的好奇心を満ち、業務のヒントや視野拡大とサステナビリティに取り組むためのネットワーク形成が期待されます。

日時

2018年7月5日 (木) 14:30~17:00 (受付開始14:00)

会場

AP秋葉原 ルームO+P (1階)

※ 住所：〒110-0006 東京都台東区秋葉原1番1号
※ 「JR秋葉原駅」中央改札口より徒歩約5分

参加費

1,000円

定員

40名 (先着順)

対象

パラスポーツに興味のある方

申込

申込サイトよりお申し込みください
<http://eventregist.com/e/2018talksession>



会場案内図



※詳しくはお申込みサイトをご確認ください。

◎プログラム (予定)

- 14:30 開会・オープニングトーク
- 14:40 講演1：上原 大祐氏 (今こそ伝えたいパラスポーツの魅力と現状)
- 15:10 講演2：越智 貴雄氏 (パラスポーツ表現のこれから)
- 15:40 トークセッション (上原氏、越智氏)
- 16:25 ネットワーキング

◎講師紹介



上原 大祐氏

パラアイスホッケー選手

- D-SHiPS32 代表。生まれつき二分脊椎という障害を抱えながらも、小・中・高と普通学級で過ごす。
- 2002年、パラアイスホッケーを始める。2010年、バンクーバーパラリンピックで銀メダルを獲得。
- 現在、障害を持つ子ども達やその親のサポートを中心に活動するNPO法人 D-SHiPS32を設立。
- 2017年、現役復帰。2018年平昌パラリンピックに出場。



越智 貴雄氏

写真家

- 1979年大阪生まれ。大阪芸術大学芸術学部写真学科卒業。2000年からパラリンピック撮影に携わり「カンパラプレス」を立ち上げる。
- 2012年パラリンピックアスリートの競技資金集めの為の「写真カレンダー」を発売。
- 2013年東京オリンピックパラリンピック招致の最終プレゼンテーションで使用された「跳躍写真」が話題となる。
- 2014年、写真集「切断ヴィーナス」を出版。2017年、寝たきりお笑い芸人の写真集「寝た集」を出版。義足のファッションショーや写真展等のイベントも多数開催している。